



宗派相承靈場

山門

市指定文化財

不平は自分を殺し
感謝すがと生かす

淨土宗十輪寺

圓光大師遺跡





十方寺

土足禁止

寶珠山金蓮院第玉華庵

寶珠

県指定文化財

じゅうりん
十輪寺本堂

指定年月日 昭和54年3月20日
所有者・管理者 十輪寺



文化財保護シンボルマーク

十輪寺は空海の開創と伝えられ、その後一時
廃退していた。現在の本堂は寺蔵の『歴代録』によ
ると、中興24世律空悦道上人が、元禄6年(1693)
に入山して再建したと記されている。

建物は桁行9間、梁間8間、向拝3間の二重
寄棟造本瓦葺で、3方に広縁をめぐらし、内部
を外陣、内陣、後陣、位牌堂に区分し、内陣の
左右に脇陣を置く。外観は簡素であるが、内外
陣境の欄間の彫刻及び内陣廻りの絵様彩色など
は優美華麗で、内部の構造、装飾意匠は文化の
爛熟した17世紀初頭の風格をもっている。

Prefectural Cultural Assets
Jūrinji Temple

Jūrinji is said to have been started by Kūkai.
It fell into disrepair once and the present main
temple was rebuilt by Etsudō Shōnin (the 24th
priest of this temple) in 1693 according to the
record of successive generations. The length of
the Ketayuki (facade) of this building is 16.38m,
Harima (the depth) is 14.56m and Kouhai (the
space for praying) is 5.46m. It is in the style of a
dual Yosemunezukuri roofed with tiles.
Surrounded by large veranda, the inside of this
building is divided into several parts-Gejin, Naijin,
Gojin, and Ihaidō. The external appearance of
the building seems simple, but the sculpture on
the Ranma, (the openworks screen above the
sliding Partitions) between Naijin and Gejin, and
the pictures and colors around the Naijin are
graceful and magnificent. The structure of the
inside and the design of the decorations have a
noble style which shows the full-grown culture
at the beginning of seventeenth century.

平成2年11月

兵庫県教育委員会

1990 November

Hyogo Prefectural Board of Education



慈嚴院

光明

寶鏡堂上人達珠第三番雪易

十戒寺

止足禁止

山瓶

本堂參拜重要文化財







大玄関
小庫





十輪寺々伝 高砂市高砂町横町一〇七四

寶瓶山十輪寺 浄土宗西山禪林寺派

宗祖法然上人二十五靈場 第三番札所

本堂 尊阿弥陀如来

彌棟造り

元祿十四年再建 第二十四世律空悦道代(半間×9間)

兵庫県指定重要文化財

庫裡及大玄関及小玄關

高砂市指定文化財

山門 貴僧門

亨保十年大阪大念佛寺の門を模して建立

開基

嵯峨帝弘仁六年(八一五)弘法大师中国渡航に際し海上安全を地蔵菩薩に祈願、この沖播磨灘にて靈感を受けられ無事所願成就、帰朝後地蔵十輪經の趣旨にのつとり鎮護國家や内海航行安全の祈願所として他の七ヶ寺(菜仙寺、延命寺、極樂寺、西福寺、松楽寺、觀音寺、未迎寺、現在は四ヶ寺)と共に創設された。

法然上人御教化

建永二年(一二〇七)三月法然上人四国に左遷の折、高砂浜の老漁夫、八田治部大夫夫妻その他求めに応じて上陸され当山に於いて漁業とする者も称名念佛によつて極楽往生できると教化されてから真言宗より浄土宗に改宗。故に法然上人を中興第一祖として今に続く、尚最近第三十一世高嶺上人に賜わつた綸旨が発見され當山の由緒深きことが證明された。

法然上人御影安置(御影堂)

大永七年(一五二七)塔の十万上人法然上人流罪の地、四国高松、生福寺(現在第二番札所)より自画贊の「寶瓶の御影」を当山に移し安置、以後山号を「地蔵山」を「寶瓶山」と号するようになつた。

宝物

絹本着色五仏尊像図 中國元時代(作者不詳) 国指定重要文化財

阿弥陀四尊図 鎌倉末期(作者不詳) 兵庫県指定文化財

不動明王二童子図 室町初期(作者不詳) 高砂市指定文化財

地蔵菩薩像 時代不詳(伝弘法大师作) 開創当時の本尊

その他 「釈迦三尊図」「阿弥陀四尊未迎図」「阿弥陀三尊図」「五百羅漢図」等

石造高麗仏(本堂と御影堂との間) 豊臣秀吉朝鮮出兵犠牲者舟子九十六人供養塔

高砂城主梶原景秀公及び三浦一族の墓碑(裏の墓地中央)





保存樹木

この松木は高砂市保存樹指定要員により指定された保存樹です。
市民の貴重な財産として大切に守っていきましょう。

樹名:クロマツ

樹齢:約300年

生長地:高砂市





保存樹木

この樹木は、高砂市が小さな郷土の資源として保護された保存樹木です。市民の重要な財産として大切に守ってください。

名前：ツツジ

大きさ：樹高約15m、胸高直径約30cm

年齢：約150年

位置：高砂市立高砂小学校

登録年：1998年

登録番号：高砂市登録第1号

登録者：高砂市

登録年月日：1998年6月1日

登録者：高砂市

</



四十五世 晓空 僧道上人

總下山善藏禪守八十世

神田家累代之墓

曉空 淳海 法子

來空 智海 法尼

曉空輪道上人就集於一雲光和尚





福森家之墓

始祖和尊吉士音
昭和三年十月八日
俗名右平
行生八十二年

士
昭和三年十月八日
俗名右平

國空二如
國空二如
大村

小林家之墓

山田家之墓

木下家之墓